

地域交流イベント - Community exchange event -

▼年の瀬マルシェ！



令和5年からはじまった年の瀬マルシェも今回で3回目の開催となりました。

寒さが厳しい中ではありましたが、近隣の方やご家族、舎人あかしあ園を利用してくださった体操クラブの方が足を運んでくださいました！

今回も江北ひまわり園（パン販売）、城北ヤクルト（ヤクルト販売）、藤之屋（ベビーカステラ）、カラフル（革細工や雑貨販売）、出店のご協力をいただきありがとうございました。例年以上に品物を用意してくださり、売り切れの商品も多数ありました。

来場してくださったお客様から「いろいろなお店があるので楽しみにして来ました。」と温かいお言葉をいただきました。次回地域交流イベントの開催も楽しみにお待ちしております。

（記 河瀬）

研修報告

内部研修

- 11月 防護服着脱
- 12月 感染症・嘔吐処理
- 1月 てんかん
虐待防止研修

防災訓練

- 1月 カード式訓練（地震・火災）
- 2月 BCP（事業継続計画）周知訓練



副施設長より

2026年最初の「人舎人」になります。今年もよろしくお願いいたします。昨年はおかげさまで開設10周年を迎え、ご利用者の方々と今までの歩みを振り返り、屋上からバルーンを飛ばして、盛大にお祝いすることが出来ました。今後も10年、20年と更なる発展を皆様と共に歩んでいきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

さて2025年を表す漢字が「熊」だったように、世の中では、不安なニュースが多かった一年だったと思います。2026年は、冬季オリンピックもありますので、明るい平和なニュースが多くなることを、切に願っております。

（記 北出）

ひと舎とひと



社会福祉法人あいのわ福祉会
Social Welfare Juridical AINOWA Organization

第41号

令和8年2月27日発行



Follow us on X and Instagram

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町2-25-11 TEL03-3854-1741 FAX03-3854-1742

社会福祉法人あいのわ福祉会 舎人あかしあ園 発行責任者 北出 宏

1 便グループ～アート展の創作作品を通して～

令和7年11月28日（金）～12月4日（木）の期間、足立区役所で開催された「ADACHI障がい者アート展」に1便グループも参加させて頂き、みんなでアート作品を創作しましたので、ご紹介したいと思います！

この作品は15名の利用者みなさんが、それぞれのペースや感性を大切にしながら生み出した作品となっています。制作には、色をじっくり重ねる技法、手の感触を楽しみながら形をつくる技法、偶然のじみや広がりを楽しむ技法など、全部で15種類のアート技法を取り入れました。

一つひとつの技法は、利用者みなさんの特性が自然と結びつき、作品の中でのびのびと表現されています。大胆な色づかいに惹かれる方、細やかな模様づくりが得意な方、柔らかな線を楽しむ方.....その姿は本当にさまざま。

どの作品にも、その人らしさや創作を楽しむ気持ちが優しく息づく作品となりました。この作品を通して、私たちは表現の多様さや温かい世界観に触れる事が出来て、沢山の事を学ぶきっかけとなりました。

（記 田中）



2便グループでは、弱視の方へのiPad支援を行っています。アクセシビリティ機能（障がいの有無にかかわらず、すべての人がテクノロジーを利用できるようにするための配慮や機能）を使いこなさなくても、音声を活用したり、ご自身が見える範囲で画面に近づいたり、画面を見やすい角度に変えたり、タップやピンチイン・ピンチアウトの操作を学習するだけで、簡単にYouTubeを閲覧できます。今回は「iPadショートカットを利用した音声検索」と「専用の50音拡大キーボード表示ツールを利用した検索（WEBアプリ開発）」の2つをご紹介します。

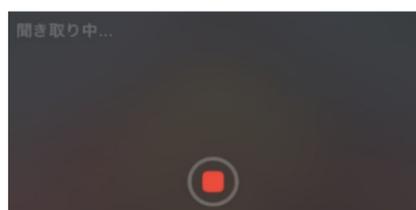
iPadの「ショートカット」を利用した音声検索

ショートカットは、簡単に扱えるプログラミングアプリです。ビジュアルプログラミング形式なのでとても分かりやすく、自分で「もし～したらこうする」といった動きを作ることができます。作成したショートカットをアイコンとしてホーム画面に追加すれば、そのアイコンをタップするだけで下記②の機能が実行されます。

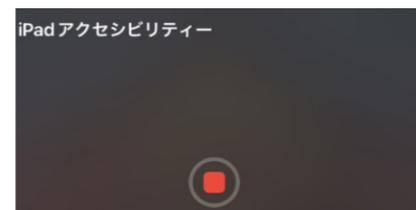
①ショートカットアプリを実行。下記のショートカットを作成



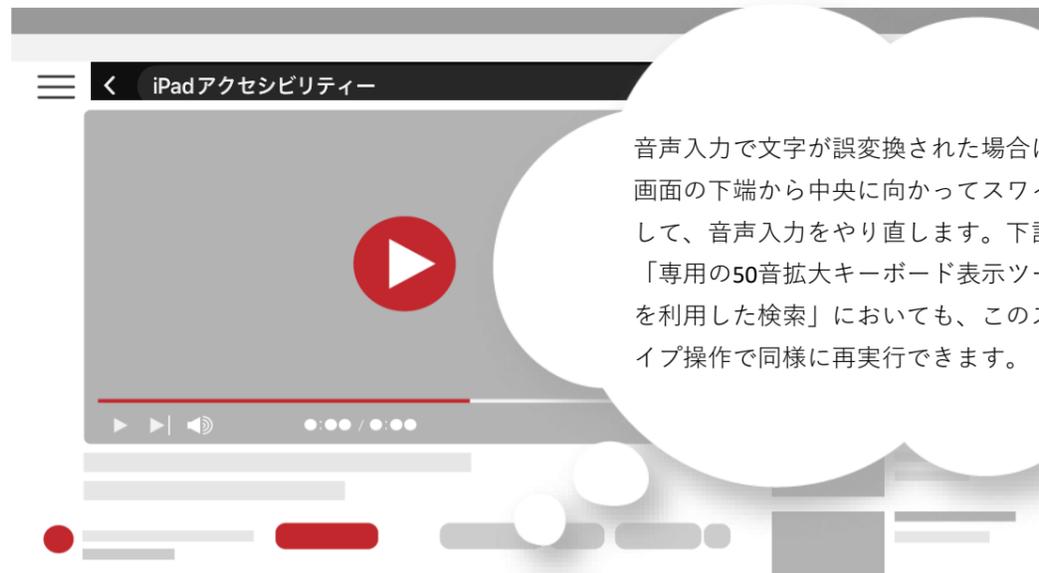
②音声を聞き取り中と表示されます。



「例 iPadアクセシビリティ」と話すと、音声入力し復唱してくれます。



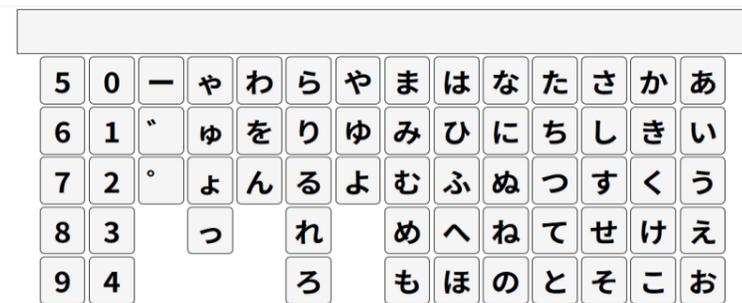
③YouTubeのアプリが開き、自動で文字が検索欄に入り実行されます。



音声入力で文字が誤変換された場合は、画面の下端から中央に向かってスワイプして、音声入力をやり直します。下記「専用の50音拡大キーボード表示ツールを利用した検索」においても、このスワイプ操作で同様に再実行できます。

専用の50音の拡大キーボード表示ツールを利用した検索

①専用の検索入力画面を作成。弱視の方が見やすい文字の大きさの「50音かな」を配置します。（iPad画面一杯に作成）



②ひらがなで入力します。検索ボタンをタップ。すると「あいぱっとあくせしびりてい」と復唱し音で、確認できます。



YouTube検索ボタンをタップするだけで、YouTubeアプリが自動的に開き、ひらがなで即座に検索が始まります。ニュース、音楽、お気に入りのチャンネルなど、様々なコンテンツを検索候補から選んで、自由に視聴できます。もちろん、文字入力の切り替え（変換ボタン）も搭載しています。

番外編

誌面の流れとは少し違いますが、ここからは、ちょっとした“番外編”。2便グループの現場から届いた「外出活動＝施設外体験活動」についての考えをまとめました。是非ご覧ください。

コ

コロナ禍を経て生まれた新しい体験 外出スタイル

外出活動を再開するにあたり、一人ひとりの“好き”や“得意”、そしてご家庭の状況を大切にしながら、一人ひとりの未来を思い描きました。

「今どんな体験をすれば、これからの活躍につながり、毎日をもっと楽しくなるだろう？」と考え、施設の外でしか味わえない体験を企画しました。

結果として、これまでと同じような場所への外出になることもありますが、その方らしさを大切にしたい企画は、「施設外体験活動」と題し、コロナ以降の新しい外出のスタイルとして進めています。

好奇心いっぱいのAさんには...

強い好奇心から様々なことにチャレンジし吸収力も抜群のAさんには、他施設の作業現場やグループホームの見学を通じて、舍人あかしあ園内の活動では得られにくい新たな発見や気づきを体験する機会を設けました。特に、同じ障がいを持つ方々がどのような環境で、どのような工夫を凝らして作業に取り組んでいるかを直接見聞きすることで、自身の可能性や選択肢を広げるきっかけになることを期待した企画でした。

詳細は裏面の特集  をご覧ください！

伝える力を磨くBさんには...

iPadを使って人に伝えることに日々磨きをかけているBさんは、自身が利用している施設がどのようなところでどのような人がいるのかを高校生に向けて伝える役割を担ってきました。

伝える内容を6分割にしてiPadに準備し、順番にタップをして音声を流して伝えました。事前に何度もタップのタイミングを練習し、いつも一緒に過ごしている仲間に向けてリハーサルを重ねて本番に挑みました。

▶ iPadドロップトークを利用して発表

ドロップトーク



料理が好きなグループには...

“こんなこともできた”、“こんな体験をした”という実感を積み上げ、自信につなげていく機会になるよう、興味のある事柄で且つちょっと背伸びして取り組めるものを企画しました。同じようなニーズのある数名で大好きな調理活動をしにいくという内容です。

自分の得意なことを披露しつつ、知らない場所で、初めて会うボランティアの方との交流をしながら。。。という緊張感の中で、どれだけ持ち前のパフォーマンスがだせるか楽しみです。

全てを記載することはできませんでしたが、皆さんそれぞれが自分らしい挑戦を重ねることができました。これからも新しい楽しみや活躍の場が広がっていくことを、私たちも一緒に楽しみにしています。



特集 外出活動 他施設見学交流 ～足立区大谷田就労支援センター・ホーム～



2025年10月末、2便グループ野口利用者様（以下の野口さん）が、他施設の作業現場を見学していただきました。

同じ障がいを持つ方々がどのような環境で、どのような工夫を凝らして作業に取り組んでいるかを直接見聞きすることで、ご自身の可能性や選択肢を広げていただければと思い、この企画を実施致しました。作業現場見学後、交流を兼ねて大谷田就労支援センターの利用者の方（以下Yさん。ほぼ同じ身体の障害や緊張をお持ちの方。）とお話した内容の一部「Q & A」お届けしたいと思います。

Q & A 野口さんからのYさんへの質問・・・

Q：（作業環境について）キーボードが2つに分かれているのはなぜですか？

A：2つに分かれたキーボードの間にマウス代わりのリモコンを置き、割りばしを口に加えて操作しやすくするためです。

Q：大谷田就労支援センターに入って嬉しかったことは何ですか？

A：お客様から「こういうレイアウトが欲しかった。ありがとう。」と言われたときです。また、工賃やボーナスを受け取ったときに「やったー！」と心で思い嬉しくなりました。

Q：顔の前にある車いすのボタンやレバーは何ですか？

A：自走やリクライニングを切り替えるためのコントローラーです。
（Yさんが実際に自走やリクライニングを一人で操作の様子を見せてくれました。）

可動域に合わせたハード面の工夫を拝見しました。

お客様の信頼を築く、価値ある仕事をしています。

スムーズに操作されていました。

Q & A Yさんから野口さんへの質問・・・

Q：舎人あかしあ園ではどんなことをしているのですか？

A：商品のカウント作業をヘッドポインタで行っています。個別活動では、「iPad音声コントロール」を習得しました。音声でPDFを印刷したり、Pagesアプリで俳句を作成したり、YouTubeやウェブサイト閲覧等行っています。また、最近音声コントロールで「Pokémon GO」を全て一人で操作（ハイパーボールを投げたり、ポケストップを回すアクション、ポケモンを進化させる等）できるようになり、外出時に楽しめるようになりました。

「Pokémon GOを音声で操作してみたいです！」YさんはiPad音声コントロールに強い関心を持っていました。



外出活動 他施設見学交流を終えて・・・

お二人とも「次回もぜひ会いたい」と再会を楽しみにされており、非常に有意義な時間となりました。この交流が、お互いの活動や生活に新たな可能性を広げるきっかけとなることを期待しています。Yさんお忙しい中、ありがとうございました。

野口さんが、大谷田就労支援センター利用者の方の作業風景や自助具の使用、年賀状印刷の様子を見学し、「すごい！」と話していたのが印象的でした。（記 大津）

※Yさんは、各種版下の制作や年賀状印刷、月刊誌のHTML化、ホームページ更新など、幅広い分野で力を発揮されています。